

九州大学
 大型計算機センターニュース
 No. 447

1991.9.5

福岡市東区箱崎6丁目10番1号
 九州大学大型計算機センター
 広報教育室

目 次	
1.	オペレーティングシステム (OS) のバージョンアップについて 1
2.	プログラム創造賞受賞記念講演会について..... 2

1. オペレーティングシステム (OS) のバージョンアップについて

9月24日(火)から、汎用機(M-780)のOSをMSPからMSP/EXにバージョンアップします。これは12月にリプレースを予定している新汎用機のOSですが、繁忙期の導入となりますので移行運用がスムーズに行われるよう、先取りしてバージョンアップするものです。ソフトウェアやTSSの利用法などは従来と同じです。ただし、SORPのENDサブコマンドでDSFオペランドが指定できなくなりますので、代わりにOUTPUTコマンドを使用してください。

```
READY
OUTPUT ジョブ名 ['(ジョブ番号)] NEW (出力クラス)
注) (ジョブ番号) は同一ジョブ名が複数あるときに指定する
```

なお、FLIST/MLISTコマンドはOSとのインターフェースを保つのが難しく、将来動作しなくなることも予想されますので、平成4年3月末で正式サポートを停止する予定です。同様な機能を持つPFDEコマンドを利用してください。

(システム管理掛 内線2518)

2. プログラム創造賞受賞記念講演会について

1991年5月に開催された全国共同利用大型計算機センター長会議の議により、九州大学工学部動力機械工学科伊藤猛宏教授を代表者とするプロパス・グループがプログラム創造賞を受賞されることになりました。熱物性値プログラム・パッケージPROPATHは、プロパス・グループが本センターで昭和58年より長期にわたって開発したもので、アルゴン、塩素等重要な多くの物質の熱物性値を関数の形で与えるプログラム・パッケージです。PROPATHはその有用性から、我国の大型計算機センターを始めとする各大学計算センター、研究機関だけでなく、米国、英国、ドイツ、中国、韓国等世界の重要な研究機関、計算センターに配布され、世界的に広く使用されています。

今回のプロパス・グループのプログラム創造賞受賞を記念して、下記の通り受賞記念講演会を行ないます。奮ってご参加下さるよう案内します。

記

日時 1991年9月17日(火) 13:30～15:00

場所 九州大学大型計算機センター多目的講習室(3階)

講演会

挨拶

プログラム創造賞受賞式

講演

1. プロパスの概要およびプロパス開発の動機と経過
九州大学工学部 伊藤 猛宏
2. プロパス関数開発の概要と問題点
大分大学工学部 吉岡 敬介
3. プロパスのパッケージ化作業の概要と問題点
九州大学工学部 高田 保之